

酒飯論絵詞

(三)

八木 意知男

(京都女子大学短期大学部教授)

(現代語訳)

酒造の長持の申し上げるには、

酒のすばらしい事は、昔も今にいい古されてしまいました。酒をお飲みになる人々は寿命は長久で、(まるで)故人に出会ったみたいで、その上富貴の身になつていらつしやる。だからでしょうか、天神七代地神五代の最初に「お神酒」といつてお供えを奉獻して以来、今末代に及ぶ迄も諸神に神酒を供える風は(絶えることなく)立派に伝えられています。(中国でも)後周の礼に「祖先を祭るには、先ず芳しい酒を地面に漉いで神を呼び降す」とありましよう。

このように神祭の時、神様が天降りなさるのは酒があつてのことです。しかも、古人の言葉にあります「死後に

名を残す悦びも、今飲むこの一杯の酒には及ばない」と。

竹林の七賢は酒を愛し詩作に耽り、別離を惜しむ詩席では三百杯も飲んだことです。千年の春の始めにもまず李花に春を遊ぶことです。夫婦・子孫の祝いもまず酒をもつて慶びあいます。「林間に酒を温め、紅葉を焚く」というのは(風流の視点からして)威厳があります。「源氏物語」に(登場する)男君、薰大将の祝言、音楽の優しさも酒盛りがあつてこそ興があります。(たとえ)雪・月・花を詠じて酒盛りが無ければ興がありません。

人間の主人である天照太神へ天下から御神酒を奉獻するに、どれも別け隔てなく御受納なさり、それを御社から天の岩

戸まで御届けなさり、余りなされると(「おさがり」にすると)聞きますが、その時には、酒に勝るものはありません。数々の美物を整えて味わうのは皆「さかな肴」と申します。

(酒を飲まず)人付き合いがない下戸が、上戸から与えられた肴を食べながら、上戸と仲間のよう思い込み、同等に存在しているかの如き顔をしているのは滑稽です。下戸の客人を得たのは、思いもかけない空の雲払いで、生まれつきの面差しは今更どうにも直りません。見た目も大層貧相です。栄華に栄える上戸達が、金銀を飾り磨いた座敷で、山海の珍物そして国中の肴を並べ置いて、紅葉の土器・蒔絵の盃に金銀を鍍、僧侶・俗人・稚児たちは入り乱れ、

飲まし飲まされの酒盛りです。

客人の下戸は、よせばよいのにこれに交わつては大盃に落ち嵌まり、ここでもあそこでも蹲すまたつてこの上ない難儀苦しみとはこれだとばかり、眉間をしかめ首をふり「どうぞお許し下さい」と謝った顔を見ると、犬に追われた猿の顔のようで、まことにもって見苦しい光景です。

(これに対して) 上戸の心はいさぎよく、流れる水の如くとどまることなく大盃で差しつ差されつしながら「気飲みだ、瀧飲みだ」などと手柄飲みを双肩脱いで勇みますが、酒の座興と許されず。だから古人が言った「(酒は) 不老不死の薬、(酒は) 百薬の長」と述べられたのも実によく言い伝えられています。夏の九十日間の暑い日も酒を飲んだら涼しくなり、厳寒の朝にも爛をした酒を飲みますと、それなりに心うき／＼として年を送ることが出来ます。上戸の建てた蔵は多く、(逆に) 酒を飲まないからといって下戸の建てた蔵はありません。

浮き世の中の姿を見ると、生死の別れ

路もあり、憂き事が多い世の中ではありませんが、それすら大盃に差し受けて一杯飲む、そうであるからこそ心の中もおもしろく、難波の事もすっかり忘れてしま

う徳も(酒には) あります。「酔った人のことだから」として少々落度があつたとしても、「酔つてる」と許されます。それですから(ただでさえ) 罪深き身と生まれて、(その上生ある) 魚・鳥を肴として食べ、明け暮に酒を飲みくらし口で(念仏を唱えたとしても)、(悪人をも救済してくれるという) 弥陀の他方は(何にもまして) 頼しいことです。(浄土へ行つて) 光明遍照十方の光を備えた身となる事、疑いはありません。

(われ) 長持が新酒や古酒に酔つたならば、(その時は) いつも仏になつたよ様な気持ちがすることだ。

(注)

一『日本書紀』に依れば

天神七代Ⅱ国常立尊く伊弉諾尊・伊弉册尊の八神の事となる。ただし『古事

記』や『旧事記』は別伝。

地神五代Ⅱ『釈日本紀』に初見で、天照大神から鸕鷀草葺不合尊うかやふあへのかみに至る五代を伝える。

二中国晋代に竹林で清談したと伝えられる七人。阮籍・嵇康・山濤・向秀・阮咸・劉伶・王戎の事。

三この点に関する故事は『和漢朗詠集』六三三や六九一に詠われている。

四白居易の『送王十八歸山、寄題仙遊寺』に見える一句で、林間に紅葉のおち葉をたいて酒をあたためる、の意。

『和漢朗詠集』二二二に入集するが、より広まったのは『平家物語』巻六が高倉天皇の御事跡としてこれを引くことによる。

〔補記〕

○本稿は杉山左近氏の連載を継承するものである。

○本稿の該当部分には特に本文の乱れがはなはだしく、そのままでは意味がとれない。そこで意訳とすることで責を務めた。